

記入日： 2018年9月10日

活動名	団体名称	特定非営利活動法人女のスペース・ながおか			
	活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動			
	活動の目的	②児童虐待や性暴力などの被害児童・社会的養護を必要とする子どもの支援			
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容		
DVや虐待などの逆境的環境下で育つ、育った子どもと親へのエンパワメント支援として、個人カウンセリングの提供（①）及び親子間や社会との関係性再構築のための遊びを通じた交流体験と、同じ体験をした仲間とのグループセッションによる学びと実践のプログラムを提供した。（④） さらに、子どもの養育環境整備として、親と子どもの絆を深める教育プログラム「CARE講座」を実施した。（②）又、支援者の養成にも力を入れ、フォローアップ講座を提供した。（③）		①2017/9/12 2018/8/31 (通年) ②2017/10/22 (日) ③2017/11/19(日)、12/10(日)・ 2018/2/25/ (日)、3/18(日) ④2017/12/24 13:30~16:00、 2018/1/14(日)13:30~15:45 2018/3/4 (日) 13:30~15:45	①心のケア（トラウマカウンセリング）によるエンパワメント支援（延べ102人） ②支援者養成フォローアップ講座（Ⅰ） 子どもと親の絆を深めるCARE講座【参加者20人、開催時間10:30~15:30(4時間)】 ③支援者養成フォローアップ講座（Ⅱ）DV・虐待家庭で育つ・育った子どもと親へのケアと支援（4回） 【延べ参加者150名、各回13:30~15:30】 ④にちようくらぶ 母と子のためのお楽しみ&グループセッション講座 【延べ参加者43人】		
■活動目標		DVや虐待家庭で育つ・育った子どもたちが安全に安心して暮らせる社会の構築を目指す			
■長期成果		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの不安定さは親の自信を失わせる。子どもの回復をはかることは親に子どものこころを理解してもらうことである。 ・地域の支援者を養成することはDVや虐待の連鎖を止める力になる。 ・子どもが安全に安心して暮らせる社会の実現を目指す。 			
活 動 風 景					
					
<プログラムを実践的に学んだCARE講座>		<具体的なケースSVに聞き入る受講生たち>			
		<親子で楽しく参加したお楽しみ講座「ヨガ」の回>			
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信	
<p>①心のケア 【成果】自身と向きあうことで問題解決が進み、次のステージへのステップとなった。【課題】経済的に負担が難しい相談者が多い。</p> <p>②支援者養成フォローアップ講座（Ⅰ） 【成果】先ず支援者を養成した（20人）ことで、当法人事業にファシリテーターとしての参加が得られた。【課題】広域展開要望にどう応えられるか。</p> <p>③支援者養成フォローアップ講座（Ⅱ） 【成果】県内全域からの受講希望があり、4回トータル参加者は150人と関心の高さがうかがえる。【課題】更なるブラッシュアップ講座の要望が高い。</p> <p>④にちようくらぶ 【成果】子どもとの関係がよくなっていき、ダメージからの回復が進み、子どもが子どもらしくなっていく。【課題】学びにつながるサイクルの確立</p>		<p>①心のケア 心の回復がなされ、対人関係や社会との繋がりの中に踏み出し再登校となった。社会の受け入れ体制がよくなった。</p> <p>②支援者養成フォローアップ講座（Ⅰ） ファシリテーターとしてお楽しみ講座参加の子どもと親への理解と対応力が向上した。地域社会のDVや虐待等への認知度が高まった。</p> <p>③支援者養成フォローアップ講座（Ⅱ） 支援者として当事者への理解が深まったことにより、相談者やカウンセリング希望者が増加している。</p> <p>④にちようくらぶ 被害にあった子どもや親への理解が進み、地域講師やファシリテーターが育っている。諦めることなく、常に虐待やDVを許さないというメッセージを発信し続けることで、恒常的な啓発となっている。</p>		<p>①心のケア 学校や行政・支援機関等へのプレゼンテーション活動、更に講演による啓発や広報紙の配布。事業や講座の案内配布を行った。</p> <p>②支援者養成フォローアップ講座（Ⅰ） 講座ファシリテーターとして学びの実践活用や、相談員・カウンセラーとして相談者にノウハウを提供した。また協働関係団体等へプログラムの有効性のアピールを行った。</p> <p>③支援者養成フォローアップ講座（Ⅱ） 得られた知見と心のパワーにより、支援者としての資質が向上し、日々の相談対応に反映されている。広報紙等に掲載するなどして還元している。</p> <p>④にちようくらぶ 子どもたちとの遊びや親とのセッションを通して得られた知見を、日常の相談業務やカウンセリングに反映させることで、相談者に力を還元させている。行政との協働により情報の発信をしている。</p>	
〒940-1151 新潟県長岡市三和3-8-1 特定非営利活動法人女のスペース・ながおか HP : https://www.facebook.com/space.nagaoka		助成金額 500,000円 助成期間 H29.9.1~H30.8.31			

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。